

JBAA 海外情報（2017年3月13日）

この情報は主に海外の業界誌を紹介・抄訳するものです。誤情報や誤訳に対し JBAA は責任を負いません。情報の使用に際しては、記載されている URL の情報源をご確認下さい。

ビジネス：

欧州の2017年2月、ビジネス航空運航量は増加

2017年3月9日：Aviation International News

WingX Advance 社の調査によると、2017年2月の欧州におけるビジネス航空の運航量は、日数が1日少ないにも関わらず、前年に比べ0.9%増加し、1～2月の通年でも前年対比2.4%増加した。業態や機体サイズ別の動向が報じられている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-03-09/europe-saw-bizav-growth-february>

Dassault Aviation 社、BJ の需要回復は2018年以降との見通し

2017年3月8日：Aviation International News

Dassault Aviation 社は BJ の需要回復は2018年以降と見込んでいること、同社の2015年以降の受注/納入/収益実績、開発が2年以上遅れている Falcon 5X の動向などが報じられている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-03-08/dassault-says-bizav-recovery-deferred-2018>

2017年2月、北米におけるビジネス航空の運航量は、前年対比+1.3%

2017年3月8日：Aviation International News

Argus TraqPak データによると2017年2月の北米におけるビジネス航空の運航量は前年同期に比べ1.3%増加した。業態、機体サイズ、地域別のデータが報じられている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-03-09/argus-us-bizav-flying-part-91-lags>

Dassault 社、Falcon 5X のエンジンの開発遅れについて Safran 社と補償交渉

2017年3月8日：FlightGlobal

超広胴 BJ Falcon 5X の就役が、装備される Silvercrest エンジンの問題によって2017年から2020年に3年遅れることに対し、Dassault 社はエンジンメーカーの Safran 社に対し多額の補償を求める交渉を開始した。Falcon 5X はこの開発の遅れにより、2016年に12機の受注キャンセルが発生している。Dassault 社は、現在は低迷している BJ 需要も2018年には回復すると予測している、Falcon 5X のこれ以上の開発遅れは許容できないとしている。また、値下げ競争に陥っている BJ 製造業界において、フランスの社会保障および労働コストは北米に対し不利になっているとも同社は述べている。

情報源：<https://www.flightglobal.com/news/articles/dassault-demands-compensation-from-safran-for-silver-434941/>

Honeywell 社、回転翼機の需要予測を下方修正

2017年3月6日：Aviation International News

Honeywell 社は19回目の Turbine-Powered Civil Helicopter Purchase Outlook（向こう5年間の予測）を発表した。期間内に3,900～4,400機の需要があると見込んでいるが、この数字は前年に比べると400機ほど少ない。短期的には、世界経済の低迷と石油/ガス事業の不透明さのために注意が必要であるが、その後は特に北米と中南米で成長すると予測している。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-03-06/honeywell-lowers-rotorcraft-delivery-forecast>

機材：

Bell 505 Jet Ranger X、初の納入

2017年3月8日：BART International

Bell Helicopter 社が開発してきた505 Jet Ranger X 型機が初めて納入された。関係者の談話や同型機の特徴が報じられている。

情報源：<http://www.bartintl.com/headlines/mar-2017/bell-helicopter-and-safran-celebrates-first-delivery-bell-505-jet-ranger-x>

[テキストを入力]

Leonardo Helicopters 社、第2世代の Tiltrotor 試作機を2023年に飛行

2017年3月8日：FlightGlobal

Leonardo Helicopters 社は2018年に型式証明取得予定の AgustaWestland AW609型に続き、第2世代の Tiltrotor を開発し、その試作機を2023年に初飛行させる計画を発表した。この Tiltrotor はエンジン全体ではなく、Gearbox と Rotor だけを Tilt させる。またこれとは別に、同社は長期的なプログラムとして、電動 Tiltrotor 機の研究に着手したことも発表した。

情報源：<https://www.flightglobal.com/news/articles/heli-expo-leonardo-plans-tiltrotor-prototype-flight-434891/>

AW209の開発決定は Part 27の全面改訂を見据えてから

2017年3月7日：FlightGlobal

Leonardo Helicopters 社は、軽量双発ヘリ AW209型機の開発を、FAR Part 27（およびその欧州版）の全面改訂の内容が明らかになってから決定することを発表した。

情報源：<https://www.flightglobal.com/news/articles/heli-expo-aw209-launch-awaits-clarity-on-part-27-re-434886/>

Pilatus PC-24 3号機が初飛行

2017年3月6日：Aviation International News

2017年3月6日に、Pilatus 社が開発中の PC-24型双発ジェットを試作3号機が初飛行し、飛行試験に加わった。型式証明は2017年第4四半期を予定している。同型機の受注は84機を受けたところで止められている。3号機は客室内装が施されて EBACE 2017に展示される。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-03-06/third-pc-24-prototype-makes-first-flight>

Bombardier Global 7000 2号機が初飛行

2017年3月6日：Aviation International News

2017年3月6日：FlightGlobal

2017年3月4日に、Bombardier 社が開発中の Global 7000型機の試作2号機が初飛行した。同機はカンサス州 Wichita に空輸され、主にシステムの飛行試験に使用される。今後更に3機が飛行試験に加わり、型式証明は当初の計画から2年遅れの2018年後半に予定されている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-03-06/third-pc-24-prototype-makes-first-flight>

情報源：<https://www.flightglobal.com/news/articles/second-global-7000-enters-flight-test-campaign-434834/>

安全：

最近公表された事故調査報告書

2017年3月8日：Aviation International News

中間報告：

Cessna 208B Grand Caravan, Dec. 27, 2016, Fort McMurray Airport, Alberta, Canada - VFR 運航において燃料が枯渇してエンジンが停止。滑走路の手前に着陸して大破。けが人なし。パイロットは緊急事態を宣言しなかった。

Sikorsky S-92A, Dec. 28, 2016, West Franklin wellhead platform, North Sea, UK - 海上油田プラットフォームへの進入中に Tail Rotor の機能が喪失し激しく着地。けが人はなかったが、機体は大きく損傷した。検査の結果、Tail-rotor Pitch Change Shaft (TRPCS) Bearing が固着し、Servo Piston が破損していた。TRPCS Bearing を次の飛行の前に緊急点検するよう、Alert Service Bulletin が発行された。

Hawker 800XP, Jan. 2, 2017, Scottsdale, Ariz. - Part 91運航において、着陸時に Nose Gear が Down Lock されていない警報が出たため、パイロットはチェックリストを実施し、低空飛行による管制塔からの目視点検を行った。着陸滑走中、35~40kt に減速した時点で Nose Gear が引っ込んだ。

Mitsubishi MU-2, Jan. 7, 2017, Niles, Mich. - 自家用運航において、雪に覆われた滑走路に着陸し、Power Lever を Beta Range に入れたとき、機体が左に偏向して滑走路を逸脱。

Cessna Citation 525S, Jan. 16, 2017, Howell, Mich. - 滑走路をオーバーランした後、機体がフェンスと樹木に衝突して大破し、自家用操縦士は重症を負った。

[テキストを入力]

Beechcraft King Air C90, Jan. 19, 2017, Paraty, Brazil – 強雨の中で墜落し、ブラジルの最高裁判所判事を含む6人全員が死亡した。CVRは回収されていて、事故原因調査が進められている。

Beechcraft King Air 300, Jan. 23, 2017, Tucson, Ariz. - 自家用運航において、離陸直後（高度100～150ft）に機体が左に横転し背面から墜落、ランプを650ftほど移動したのち、コンクリートの壁に激突。パイロットと乗客1人は死亡。

最終報告書：

Pilatus PC-12/47E, June 18, 2016, Paraburdoo, Western Australia - 夜間のIFR運航において、離陸直後高度250ftを上昇中、Radio Altimeterがゼロを示し、PDFに表示されるHoneywell Primus Apex Smart Viewの合成画像では滑走路が急激に左方向に移動し、地表が近付いてきた。両パイロットともに混乱を来したが、月明かりにより機体の異常姿勢に気付いたPNFの助言によりPFはElectronic Standby Instrumentation System (ESIS)を参照し、高度850ftまでに正常な飛行を回復し、目的地まで飛行を続けた。事故後の調査で、両Radio Altimeterのアンテナが故障したことが判明した。また、Honeywell社はPDFの合成映像は状況認識を高めるための一助である旨のPilot Advisory Letterを発行した。

Cessna 441 Conquest II, Sept. 5, 2016, Coorabie ALA, South Australia - 下り勾配の着陸場に入中、送電線に右プロペラが接触。進入復行の後、無事に着陸。送電線には衝突防止のマーキングが施されていない。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-03-08/accidents-march-2017>

A380の下方をすれ違ったBJがWake Turbulenceにより操縦不能に

2017年3月8日：The Aviation Herald

2017年1月7日、アラビア海上空FL340において、Airbus A380の1,000ft下方を反対方向にすれ違ったBombardier Challenger 604がWake Turbulenceにより操縦不能に陥り約10,000ft下降したが、パイロットは操縦を取り戻して緊急着陸した。搭乗者9人の多くが負傷し、1人は重症を負った。機体は過大な荷重によって修復不能の損傷を受けて抹消された。状況の詳細が、類似事例と共に報じられている。

情報源：<http://avherald.com/h?article=4a5e80f3&opt=0>

2017年3月21日、欧州において新たなSET-IMC規則が発効

2017年3月7日：Aviation International News

2017年3月21日、欧州において、単発タービン機による夜間またはIMCの航空運送事業が許容される新たな規則が発効する。ただし、その実施には国ごとの承認と、機材および乗員の要件が求められる。機材および乗員の要件が説明されている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-03-07/new-set-imc-rules-take-effect-march-21>

ビジネス航空機事故で最も多いのは滑走路からの逸脱

2017年3月6日：Aviation International News

AIN誌は、2010年～2016年の7年間に米国籍のビジネス航空タービン機で発生した406件の事故の分析結果を発表した。年/機材/業態別に、事故件数/死者数などが紹介されている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-03-06/runway-excursions-most-common-type-bizav-accident>

以上